



## 平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月14日

上場会社名 株式会社インタースペース 上場取引所 東  
 コード番号 2122 URL http://www.interspace.ne.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 伸一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理管掌 (氏名) 岩淵 桂太 TEL 03(5339)8680  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	21,537	6.9	742	△6.4	728	△12.0	457	△9.2
29年9月期第3四半期	20,149	19.1	792	20.8	827	29.6	503	35.5

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 453百万円 (△12.6%) 29年9月期第3四半期 518百万円 (49.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	67.44	—
29年9月期第3四半期	74.28	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第3四半期	8,858	4,587	51.8	676.21
29年9月期	8,856	4,229	47.7	623.42

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 4,586百万円 29年9月期 4,228百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	14.00	14.00
30年9月期	—	0.00	—		
30年9月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	8.1	1,150	7.1	1,150	△10.9	695	△13.6	102.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 2社（社名）4 M E E 株式会社、株式会社ストアフロント  
（注）詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期3Q	6,967,200株	29年9月期	6,967,200株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	184,241株	29年9月期	184,193株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期3Q	6,782,991株	29年9月期3Q	6,783,025株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(企業結合等関係)	6
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、緩やかに景気回復の持続と企業収益の改善がみられ、雇用情勢や設備投資の増加など回復基調が続いております。2017年度の基幹3税(所得税、法人税、消費税)の税収が増加したことが、政府の各種政策の効果が裏付けられる結果となっております。

当社グループが属するインターネット広告市場は、引き続き安定的な成長が見込まれ、普及が進むスマートフォンをはじめとしたデバイスの多様化により、付随するサービスやソリューションの市場規模は継続的に拡大傾向にあります。

こうした事業環境のもと、当社グループは主力事業であるアフィリエイトサービスを中心に、「コンテンツ、メディアの拡充」、「グローバル展開の推進」、「人材の確保と育成」を重点項目として掲げ、事業拡大に取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は21,537百万円(前年同四半期比6.9%増加)、営業利益は742百万円(前年同四半期比6.4%減少)、経常利益は728百万円(前年同四半期比12.0%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は457百万円(前年同四半期比9.2%減少)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

## &lt;インターネット広告事業&gt;

当事業は、インターネットを活用した成果報酬型広告であるアフィリエイトサービスを主軸に事業を展開しております。主力のアフィリエイトサービス「アクセストレード」においては、昨年度大きく伸長したECカテゴリにおいて「コスメ、サプリメント」などの単品通販商品において、一部の広告規制等による影響があったものの、引き続き好調に推移したほか、金融カテゴリの仮想通貨関連の新しいジャンルへの取り組みを強化いたしました。店舗向けアフィリエイトサービス「ストアフロントアフィリエイト」においては、2018年4月より事業を分社化し販売活動における機動性の強化に取り組みました。また、セキュリティー月額サービス「MWノートンストア」をリリースし、獲得強化に注力いたしました。ネイティブアドネットワーク「X-lift」においては、配信ボリュームの高いメディアの開拓や自社メディアとのリレーション強化に取り組み事業の拡大に努めました。

また、海外事業においては、連結子会社のタイ、関連会社のベトナムが引き続き好調に推移し、広告取扱高を大きく伸長させ更なる拡大が期待されます。

これらの結果、当事業の売上高は20,852百万円(前年同四半期比6.1%増加)、セグメント利益は648百万円(前年同四半期比9.3%減少)となりました。

## &lt;メディア運営事業&gt;

当事業は、日本最大級のママ向けコミュニティサイト「ママスタジアム」を主軸に事業を展開し、スマートフォン向けアプリの企画開発、提供も行っております。主力の「ママスタジアム」において、芸能人コラムなど人気の高いコンテンツの拡充に注力し、タイアップ広告の受注拡大に注力いたしました。また、株式会社セブン&アイ出版との共同事業である「saitaPULS」「ヨガジャーナルオンライン」においては、雑誌と連携しながらブランド企業の広告案件の受注に注力いたしました。同じく女性向けトレンドメディアを運営する4MEE株式会社においては、継続的にコスメなどの記事タイアップ広告を獲得し、メディア内の記事の充実性とユーザー獲得に注力いたしました。ネイティブアプリなどを提供するコンテンツ事業においては、女性向け恋愛カジュアルアプリの新規タイトルリリース、既存メディアの拡充による収益拡大、新たなコンテンツ拡充に向けた投資に注力いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は685百万円(前年同四半期比39.9%増加)、セグメント利益は94百万円(前年同四半期比19.9%増加)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,670百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円減少いたしました。これは主に法人税等の納付等により現金及び預金が334百万円減少したこと、インターネット広告売上及びメディア売上の増収に伴い売掛金が243百万円増加したことによるものであります。固定資産は1,188百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円増加いたしました。これは主に本社の内部造作に伴い有形固定資産が22百万円増加したこと、アクセストレード及びX-liftの開発に伴い無形固定資産が31百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は8,858百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,191百万円となり、前連結会計年度末に比べ361百万円減少いたしました。これは主に法人税等の納付により未払法人税等が282百万円減少したこと、賞与引当金が51百万円減少したことによるものであります。固定負債は79百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は4,271百万円となり、前連結会計年度末に比べ355百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,587百万円となり、前連結会計年度末に比べ358百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益457百万円および剰余金の配当94百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は51.8%（前連結会計年度末は47.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月14日の「平成29年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,174,088	3,839,609
売掛金	3,259,500	3,502,957
その他	317,993	330,157
貸倒引当金	△957	△2,619
流動資産合計	7,750,626	7,670,104
固定資産		
有形固定資産	218,804	241,132
無形固定資産		
その他	320,401	351,568
無形固定資産合計	320,401	351,568
投資その他の資産		
その他	592,228	624,255
貸倒引当金	△25,359	△28,307
投資その他の資産合計	566,869	595,948
固定資産合計	1,106,075	1,188,649
資産合計	8,856,701	8,858,753
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,697,414	3,621,168
未払法人税等	310,551	27,776
賞与引当金	126,312	74,529
その他	418,562	468,163
流動負債合計	4,552,840	4,191,637
固定負債		
その他	74,454	79,664
固定負債合計	74,454	79,664
負債合計	4,627,295	4,271,302
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	984,653	984,653
資本剰余金	725,000	725,000
利益剰余金	2,591,210	2,953,696
自己株式	△100,155	△100,239
株主資本合計	4,200,709	4,563,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,034	25,906
為替換算調整勘定	2,903	△2,320
その他の包括利益累計額合計	27,937	23,585
新株予約権	760	756
純資産合計	4,229,406	4,587,451
負債純資産合計	8,856,701	8,858,753

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	20,149,079	21,537,695
売上原価	16,590,838	17,846,027
売上総利益	3,558,241	3,691,667
販売費及び一般管理費	2,765,291	2,949,127
営業利益	792,950	742,539
営業外収益		
投資事業組合運用益	24,795	—
為替差益	12,390	—
持分法による投資利益	—	1,504
助成金収入	3,070	3,171
その他	504	946
営業外収益合計	40,759	5,622
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	14,983
持分法による投資損失	5,125	—
その他	937	4,501
営業外費用合計	6,063	19,485
経常利益	827,646	728,677
特別利益		
負ののれん発生益	—	14,181
特別利益合計	—	14,181
特別損失		
投資有価証券評価損	25,766	26,143
特別損失合計	25,766	26,143
税金等調整前四半期純利益	801,880	716,714
法人税、住民税及び事業税	254,232	233,929
法人税等調整額	43,809	25,337
法人税等合計	298,041	259,267
四半期純利益	503,838	457,447
親会社株主に帰属する四半期純利益	503,838	457,447

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	503,838	457,447
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,421	872
為替換算調整勘定	△4,143	△5,139
持分法適用会社に対する持分相当額	240	△84
その他の包括利益合計	14,518	△4,352
四半期包括利益	518,356	453,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	518,356	453,095

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間より、ロケットベンチャー株式会社(平成30年3月23日付で4ME E E株式会社に商号変更)の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間より、新設分割により設立した株式会社ストアフロントを連結の範囲に含めております。

(企業結合等関係)

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称 スストアフロントアフィリエイト事業

事業の内容 携帯販売店を中心としたリアルネットワークで、サービス説明・会員登録への誘導等のプロモーションを行い、登録件数やアクションに応じて店舗に成果報酬を支払う成果報酬型のサービス

(2) 企業結合日

平成30年4月2日

(3) 企業結合の法的形式

当社を分割会社とし、新設会社を承継会社とする新設分割であります。

(4) 結合後企業の名称

株式会社ストアフロント

(5) その他取引の概要に関する事項

当社グループは、「Win-Winをつくり、未来をつくる。」という経営理念を掲げ、既存事業の成長とともに新しい価値を生み出すチャレンジを推進しております。このたび、ストアフロントアフィリエイト事業の事業領域の拡大やブランディング強化による企業価値向上をはかるため、「意思決定の迅速化」「効率的な事業推進」等を目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	インターネット 広告	メディア運営	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,659,140	489,939	20,149,079	—	20,149,079
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,659,140	489,939	20,149,079	—	20,149,079
セグメント利益	714,226	78,723	792,950	—	792,950

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	インターネット 広告	メディア運営	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,852,752	684,943	21,537,695	—	21,537,695
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	245	245	△245	—
計	20,852,752	685,188	21,537,940	△245	21,537,695
セグメント利益	648,133	94,406	742,539	—	742,539

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。